

財政指標にみる

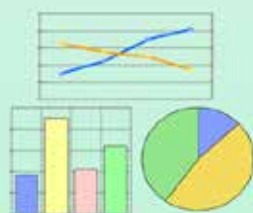
あなたのまちの財政状況

平成25(2013)年度 奈良県内市町村決算

わたしのまちは大丈夫?



財政指標ってなに?



奈良県地域振興部市町村振興課

平成27年3月

知れば
知るほど
奈良
ほれもしろい



奈良県マスコットキャラクター
せんとくん
©NARA pref.
<http://www.pref.nara.jp/>

目 次

はじめに－「財政」という言葉をご存じですか？	1
1. 市町村財政のしくみは？	2
2. 収支（資金繰り）の健全度を測るポイントは？	5
2-1. 夫婦の給料で生活費がまかなえているか（経常収支比率）	6
2-2. 家計が赤字になっていないか（実質赤字比率・連結実質赤字比率）	23
3. 借入れや保証の健全度を測るポイントは？	28
3-1. 毎年のローン返済が重すぎないか（実質公債費比率）	29
3-2. ローン残高や保証額は大きすぎないか（将来負担比率）	37
4. 市町村税収の状況は？	45
5. 財政状況が悪い市町村はどうなるの？	49

はじめに — 「財政」という言葉をご存じですか？

市町村では、税金や借入金(地方債)等で資金を調達(歳入)し、その資金を住民の福祉や教育などのサービス、道路などの整備や地元産業の振興のために配分(歳出)していますが、この資金を調達し、配分する活動を広く「財政」と呼んでいます。

お住まいの市町村で公表されている「財政状況」をみれば、どのように資金を集めて、どのように使ったか、また借入金の残高はどれくらいあるかなど、その年の「経営成績」を知ることができます。



財政状況を読みとくポイントは？

①身近な視点で考える・・・「家計」との比較

市町村の「財政」を、皆さんにとってもっと身近な視点で考え、理解していただくために、ここでは「財政」を「家計」にたとえていますので、家計の視点でやりくりがうまいかどうかをみてください。

②「成績表」を比較する・・・過去の成績や他の市町村との比較

お住まいの市町村の「財政状況」は、その年のいわば「成績表」ですから、過去の財政状況や他の市町村の財政状況と比べることが肝心です。ここでは、県内市町村の財政状況を比較しやすいように、重要なポイントを比率で表した「財政指標」を中心に説明していきます。

1. 市町村財政のしくみは？

市町村財政における会計区分について

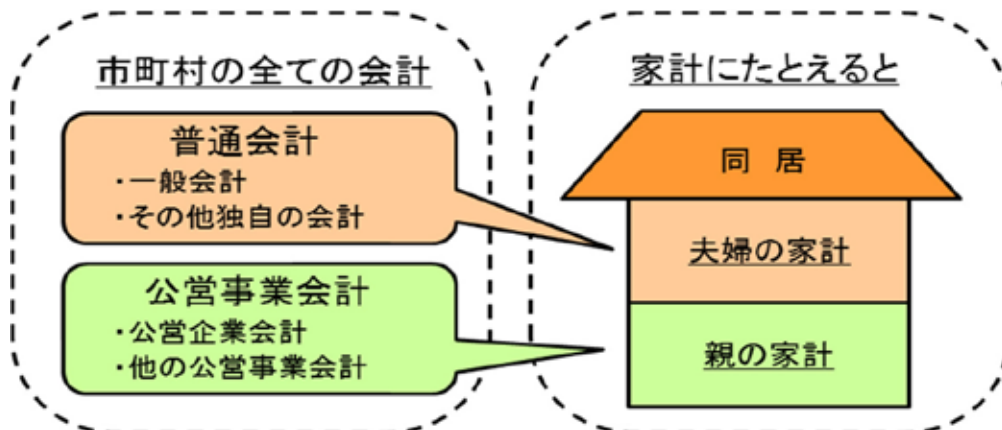
市町村では、福祉、教育、土木、上下水道、病院、国民健康保険、介護保険など様々な行政サービスを行うための経費を大きく2つの会計に分けて管理しています。

3ページのグラフは「普通会計」と呼ばれる会計の決算で、福祉、教育、土木、衛生など、市町村の基本的な施策を行う会計である「一般会計」と、特定の事業を行う場合に、条例により一般会計と区分して経理する「特別会計」からなります。

また、上下水道、病院のように採算性のある事業や、国民健康保険事業などに適用される「公営事業会計」と呼ばれる会計があります。

市町村の会計を、家計にたとえると次のように考えることができます。

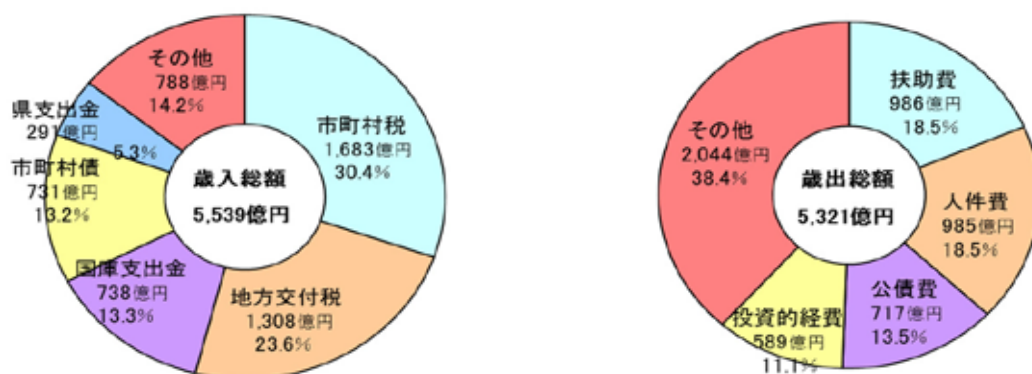
地方財政		家計にたとえると	
普通会計	一般会計 特別会計(普通会計に属するもの) 例:〇〇貸付金特別会計 用地先行取得特別会計	夫婦の家計	同居
公営事業会計	公営企業会計 (水道、下水道、交通、病院など) 収益事業会計 (競馬、競輪など) 国民健康保険事業会計 介護保険事業会計 後期高齢者医療事業会計 その他	親の家計	



市町村財政(普通会計)における1年間の収入・支出(歳入・歳出)について

下のグラフは、平成25年度の県内39市町村の普通会計決算を合計したものです。

皆さんに納めていただく市町村税は、歳入の3割以上を占めており、貴重な財源となっています。歳出は、割合の大きい順に扶助費、人件費、公債費となっています。扶助費は生活保護や子ども、高齢者、障害者等を援助する経費をいい、近年は増加傾向にあります。公債費は過去に国や銀行等から借り入れたお金の返済のことをいいます。



市町村財政(歳入・歳出)を家計(収入・支出)にたとえると次のように考えることができます。

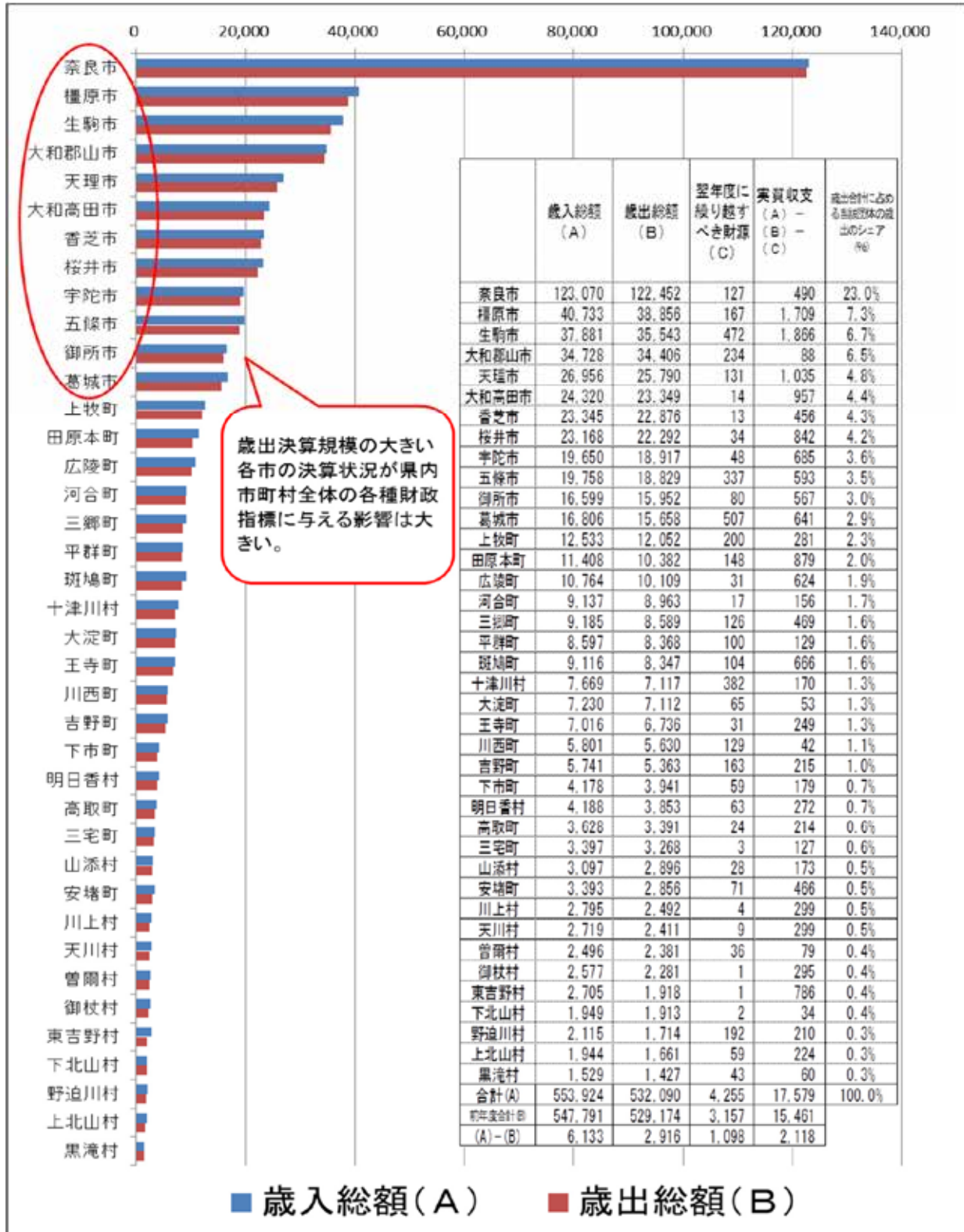
家計にたとえると		市町村財政(普通会計)		
収入	給料	給与	市町村税	歳入
		ボーナス	地方譲与税、各種交付金	
	手当(扶養・住宅)	普通交付税	地方交付税	
	災害見舞金(支援金)	特別交付税		
	貯蓄の取り崩し	繰入金		
	その他臨時収入	国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等		
	去年から繰り越したお金	繰越金		
新たな借金	市町村債			
支出	最低限の生活費	食費	人件費	歳出
		医療費、光熱水費、修繕費等	扶助費、物件費、維持修繕費	
		親や子どもへの生活費の仕送り等	補助費等、繰出金	
		ローンの返済	公債費	
	家の購入、車の購入	普通建設	投資的経費	
	自然災害による修繕	災害復旧事業費		
	貯蓄の積立て	積立金		
株式投資等	投資・出資金、貸付金			
去年の支払に回したお金	前年度繰上充用金			

県内各市町村の決算規模(普通会計)

県内各市町村の平成25年度普通会計決算額をグラフで表すと以下のようになります。

歳出決算額が県内市町村歳出決算額合計の約23%を占める奈良市をはじめ、歳出決算規模の大きい各市の決算状況が県内市町村全体の各種財政指標に与える影響は大きくなります。

(単位：百万円)



2. 収支(資金繰り)の健全度を測るポイントは？

家計と同じく、市町村財政でも健全度を測るためには、収支(資金繰り)と借入れに注目することが重要です。まず、収支(資金繰り)では、①給料(経常的収入)で生活費(経常的支出)がまかなえているか、②会計が赤字になっていないかが重要です。

そこで、財政規模や会計制度が市町村ごとに異なりますので、基本的収入である夫婦の給料(経常的収入)を基準にした「財政指標」で表すことで、比較がしやすくなります。

収支の健全度を測るポイント！

市町村の各会計の決算額をみてもわかりづらい要因は…

- ・財政規模の大小(例:奈良市と野迫川村)
- ・会計区分のバラツキ(例:市町村独自の特別会計)
- ・地域のニーズに応じた支出の重点化(例:福祉・道路・教育等)

そこで

財政指標①(経常収支比率)、②(実質赤字比率・連結実質赤字比率)を活用

- ・財政規模や支出のバラツキがなくなる
- ・全市町村の会計区分が統一される

①給料で生活費がまかなえているか

経常収支比率(夫婦)

P6~P22へ

②赤字になっていないか

実質赤字比率(夫婦)

連結実質赤字比率(夫婦と親)

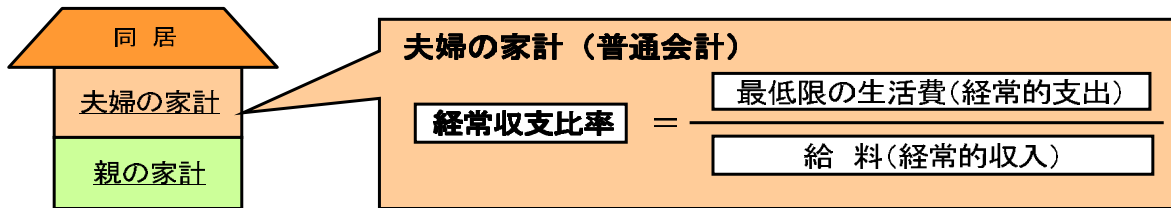
P23~P27へ

各財政指標の健全度を健康状態であらわすと

財政指標	健康状態 ←—————→ 破たん			
	健康 自己管理	要治療	重症 入院治療	重篤 緊急集中治療
経常収支比率	90.2%	100.0%		
実質赤字比率	0.0%	11.25%~15.00%	20.00%	
連結実質赤字比率	0.0%	16.25%~20.00%	35.00%	

2-1. 夫婦の給料で生活費がまかなえているか(経常収支比率)

夫婦の家計(普通会計)が給料(経常的収入)で最低限の生活費(経常的支出)をまかなえているかをみるための財政指標が「経常収支比率」です。この比率が100%を超えると臨時収入や貯蓄の取り崩しが必要な状況であることがわかります。



家計にたとえると		市町村財政(普通会計)	
収入	給料	給与	市町村税
		ボーナス	地方譲与税、各種交付金
		手当(扶養・住宅)	普通交付税
			特別交付税
			地方交付税
			繰入金
	災害見舞金(支援金)		国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等
	貯蓄の取り崩し		繰越金
	その他臨時収入		市町村債
	去年から繰り越したお金		
	新たな借入金		
給料		経常的収入	
支出	最低限の生活費	食費	人件費
		医療費、光熱水費、修繕費等	扶助費、物件費、維持修繕費
		親や子どもへの生活費の仕送り等	補助費等、繰出金
		ローンの返済	公債費
			普通建設
		家の購入、車の購入	災害復旧事業費
		自然災害による修繕	積立金
		貯蓄の積立	投資的経費
		株式投資等	投資・出資金、貸付金
		去年の支払に回したお金	前年度繰上充用金
最低限の生活費		経常的支出	
歳入		歳出	

経常収支比率が100%を超えると重症です

健康 ← 指数100% → 重症	
指標が100を下回るほど	指標が100を上回るほど
生活にゆとりがある (行政サービスが充実)	生活を切りつめる (行政サービスが縮小)
車等の購入がしやすい (普通建設の拡充)	車等の購入を見送る (普通建設の縮小)
・貯蓄がしやすい ・無理な借入れをしなくてもよい (基金残高の増、借入残高の減)	・貯蓄を取り崩す ・借入れをする必要が生じる (基金残高の減、借入残高の増)

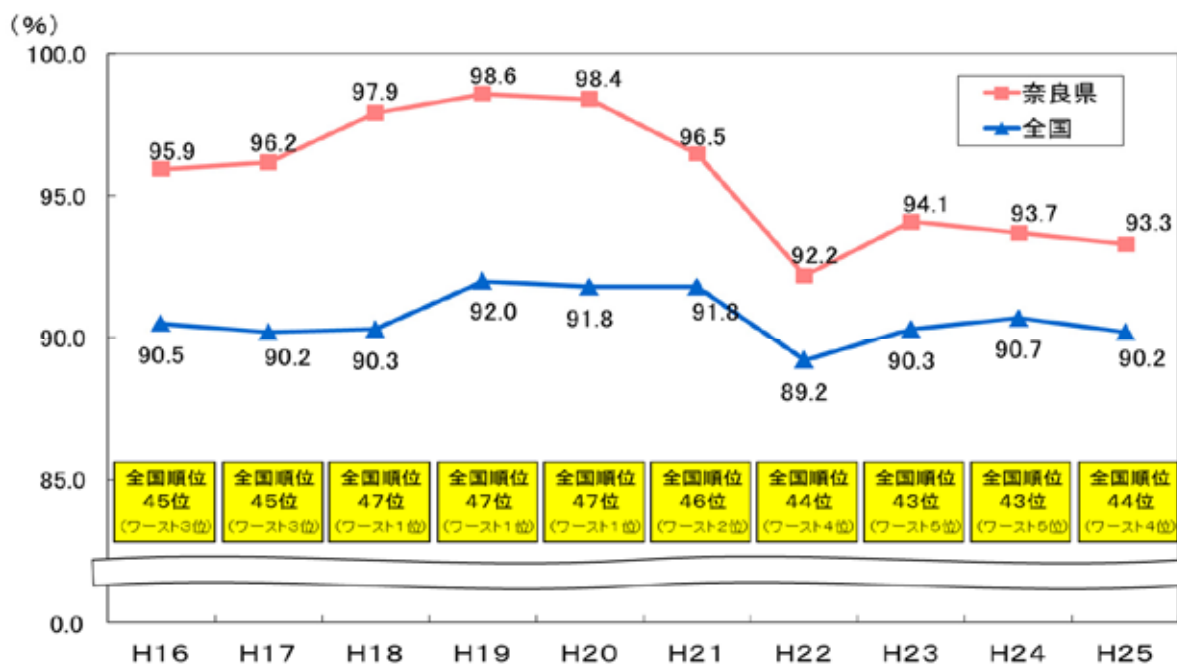
県内市町村の経常収支比率の状況

県内市町村平均 93.3% (全国平均90.2%)

- ・全国ワースト4位(前年度は全国ワースト5位)
- ・対前年度比 0.4ポイント改善(全国平均は0.5ポイント改善)

経常収支比率の県内市町村平均(加重平均)は、平成18～20年度決算では3年連続全国ワースト1位となりました。しかし、平成21年度決算では4年ぶりに全国ワースト1位から脱却、平成22年度決算では7年ぶりに全国ワースト3から脱却しました。平成25年度決算では前年度より悪化し全国ワースト4位となり、対前年度比で0.4ポイント改善しています。

全国平均との差が拡大し、依然として全国平均を上回っていることから、県内市町村ではより一層の行財政改革に取り組んでいます。



各都道府県の経常収支比率(市町村平均)の推移

県内市町村平均は93.3%となり、前年度より0.4ポイント改善しました。全国順位はワースト4位となりました。

(単位：%、位)

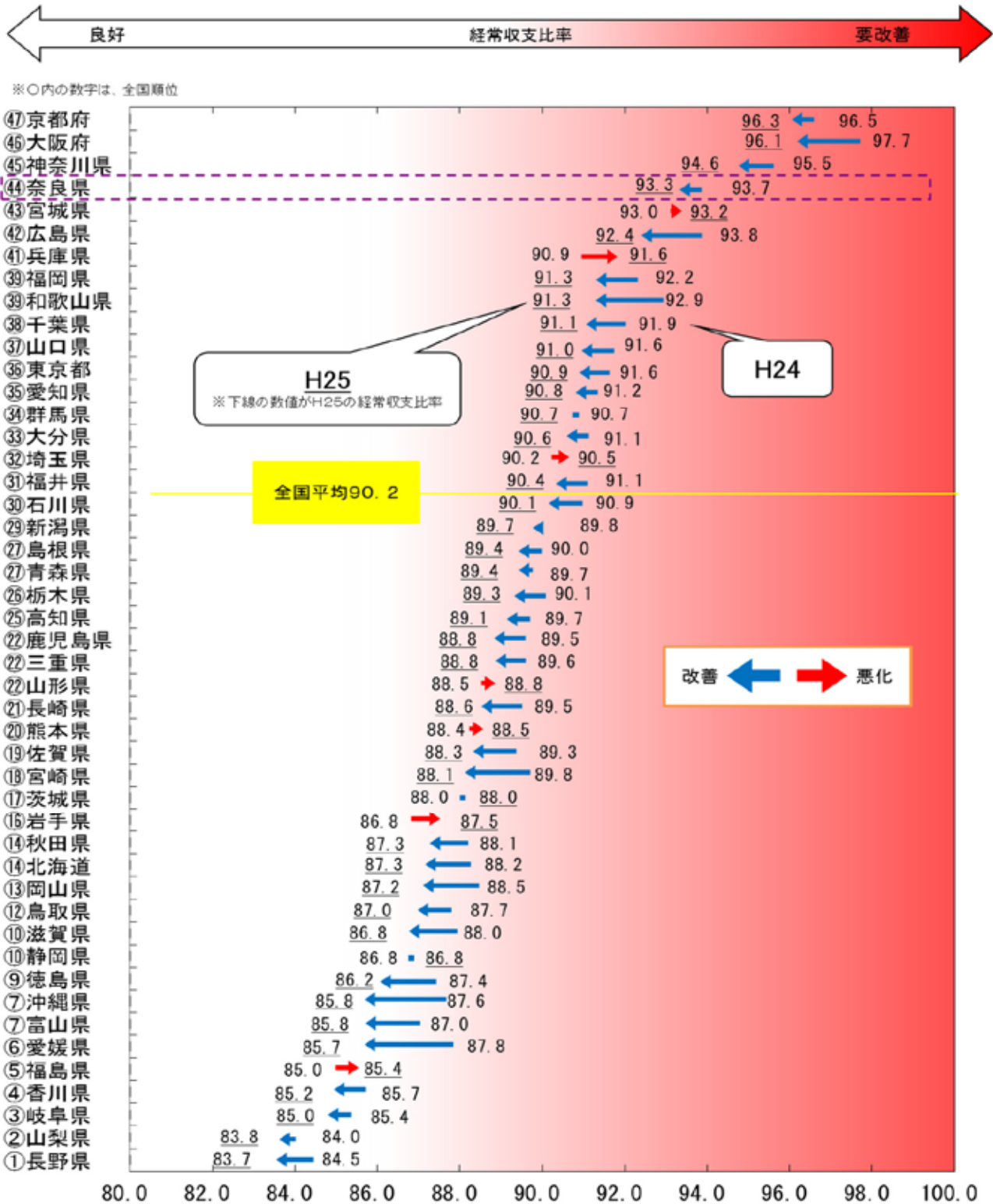
順位	H21年度		順位	H22年度		順位	H23年度		順位	H24年度		順位	H25年度		H25-H24 比率の増減
1	大阪府	98.5	1	大阪府	96.4	1	大阪府	97.0	1	大阪府	97.7	1	京都府	96.3	△ 0.2
2	奈良県	96.5	2	京都府	94.5	2	宮城県	95.8	2	京都府	96.5	2	大阪府	96.1	△ 1.6
3	神奈川県	95.0	3	神奈川県	94.4	3	京都府	95.3	3	神奈川県	95.5	3	神奈川県	94.6	△ 0.9
4	福岡県	94.8	4	奈良県	92.2	4	神奈川県	94.5	4	広島県	93.8	4	奈良県	93.3	△ 0.4
5	京都府	94.5	5	広島県	91.9	5	奈良県	94.1	5	奈良県	93.7	5	宮城県	93.2	+ 0.2
5	兵庫県	94.5	5	福岡県	91.9	6	広島県	93.5	6	宮城県	93.0	6	広島県	92.4	△ 1.4
5	広島県	94.5	7	兵庫県	91.8	7	兵庫県	92.4	7	和歌山県	92.9	7	兵庫県	91.6	+ 0.7
8	群馬県	94.2	8	東京都	90.8	8	山口県	91.4	8	福岡県	92.2	8	和歌山県	91.3	△ 1.6
9	山口県	94.0	9	宮城県	90.6	9	福岡県	91.2	9	千葉県	91.9	8	福岡県	91.3	△ 0.9
10	和歌山県	93.5	10	千葉県	90.5	10	和歌山県	91.1	10	東京都	91.6	10	千葉県	91.1	△ 0.8
11	宮城県	93.2	11	愛知県	90.2	11	千葉県	91.0	10	山口県	91.6	11	山口県	91.0	△ 0.6
12	千葉県	92.4	12	山口県	90.0	12	東京都	90.8	12	愛知県	91.2	12	東京都	90.9	△ 0.7
12	石川県	92.4	13	石川県	89.9	12	愛知県	90.8	13	福井県	91.1	13	愛知県	90.8	△ 0.4
14	大分県	92.2	14	大分県	89.4	14	大分県	90.6	13	大分県	91.1	14	群馬県	90.7	+ 0.0
15	青森県	91.4	15	和歌山県	89.1	15	石川県	90.0	15	石川県	90.9	15	大分県	90.6	△ 0.5
16	鹿児島県	91.3	16	栃木県	89.0	16	青森県	89.8	15	兵庫県	90.9	16	埼玉県	90.5	+ 0.3
17	北海道	91.2	17	群馬県	88.4	16	島根県	89.8	17	群馬県	90.7	17	福井県	90.4	△ 0.7
17	東京都	91.2	18	島根県	88.1	18	群馬県	89.7	18	埼玉県	90.2	18	石川県	90.1	△ 0.8
19	山形県	91.1	19	埼玉県	87.8	18	埼玉県	89.7	19	栃木県	90.1	19	新潟県	89.7	△ 0.1
20	宮崎県	91.0	20	青森県	87.7	20	福井県	89.6	20	島根県	90.0	20	青森県	89.4	△ 0.3
21	島根県	90.9	21	北海道	87.5	21	北海道	88.9	21	新潟県	89.8	20	島根県	89.4	△ 0.6
22	滋賀県	90.8	21	秋田県	87.5	21	鹿児島県	88.9	21	宮崎県	89.8	22	栃木県	89.3	△ 0.8
22	長崎県	90.8	21	長崎県	87.5	23	栃木県	88.8	23	青森県	89.7	23	高知県	89.1	△ 0.6
22	熊本県	90.8	24	新潟県	87.4	23	長崎県	88.8	23	高知県	89.7	24	山形県	88.8	+ 0.3
25	高知県	90.5	24	福井県	87.4	25	新潟県	88.7	25	三重県	89.6	24	三重県	88.8	△ 0.8
25	佐賀県	90.5	24	佐賀県	87.4	26	秋田県	88.6	26	長崎県	89.5	24	鹿児島県	88.8	△ 0.7
27	埼玉県	90.3	24	宮崎県	87.4	27	山形県	88.5	26	鹿児島県	89.5	27	長崎県	88.6	△ 0.9
27	福井県	90.3	28	山形県	87.1	28	熊本県	88.3	28	佐賀県	89.3	28	熊本県	88.5	+ 0.1
27	愛知県	90.3	29	三重県	86.9	29	高知県	88.1	29	山形県	88.5	29	佐賀県	88.3	△ 1.0
30	岡山県	90.2	29	熊本県	86.9	30	宮崎県	88.0	29	岡山県	88.5	30	宮崎県	88.1	△ 1.7
31	秋田県	90.1	31	茨城県	86.8	31	三重県	87.9	31	熊本県	88.4	31	茨城県	88.0	+ 0.0
32	徳島県	89.9	31	高知県	86.8	31	佐賀県	87.9	32	北海道	88.2	32	岩手県	87.5	+ 0.7
33	栃木県	89.7	33	鹿児島県	86.7	33	岩手県	87.6	33	秋田県	88.1	33	北海道	87.3	△ 0.9
34	茨城県	89.5	34	岡山県	86.5	33	福島県	87.6	34	茨城県	88.0	33	秋田県	87.3	△ 0.8
35	新潟県	89.4	35	滋賀県	85.8	33	岡山県	87.6	34	滋賀県	88.0	35	岡山県	87.2	△ 1.3
36	鳥取県	89.0	36	鳥取県	85.5	36	徳島県	87.5	36	愛媛県	87.8	36	鳥取県	87.0	△ 0.7
37	岩手県	88.6	37	富山県	84.7	37	鳥取県	87.4	37	鳥取県	87.7	37	静岡県	86.8	+ 0.0
37	三重県	88.6	37	徳島県	84.7	38	茨城県	87.3	38	沖縄県	87.6	37	滋賀県	86.8	△ 1.2
39	愛媛県	88.4	37	香川県	84.7	39	滋賀県	86.4	39	徳島県	87.4	39	徳島県	86.2	△ 1.2
39	沖縄県	88.4	40	沖縄県	84.5	40	愛媛県	86.2	40	富山県	87.0	40	富山県	85.8	△ 1.2
41	福島県	87.7	41	愛媛県	84.4	41	富山県	85.8	41	岩手県	86.8	40	沖縄県	85.8	△ 1.8
42	富山県	87.5	42	静岡県	84.3	42	静岡県	85.7	41	静岡県	86.8	42	愛媛県	85.7	△ 2.1
43	岐阜県	87.3	43	岩手県	84.0	43	岐阜県	85.5	43	香川県	85.7	43	福島県	85.4	+ 0.4
44	香川県	87.1	43	岐阜県	84.0	43	香川県	85.5	44	岐阜県	85.4	44	香川県	85.2	△ 0.5
45	長野県	86.6	45	福島県	82.9	45	沖縄県	85.4	45	福島県	85.0	45	岐阜県	85.0	△ 0.4
46	山梨県	85.9	46	山梨県	82.7	46	長野県	84.0	46	長野県	84.5	46	山梨県	83.8	△ 0.2
47	静岡県	85.7	46	長野県	82.7	47	山梨県	83.7	47	山梨県	84.0	47	長野県	83.7	△ 0.8

全国平均	91.8	全国平均	89.2	全国平均	90.3	全国平均	90.7	全国平均	90.2	△ 0.5
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

平成25年度各都道府県の経常収支比率(市町村平均)を前年度と比較しグラフ化すると、次のページのとおりとなります。また、近畿2府4県の経常収支比率(市町村平均)の推移をグラフ化すると、10ページのとおりとなります。

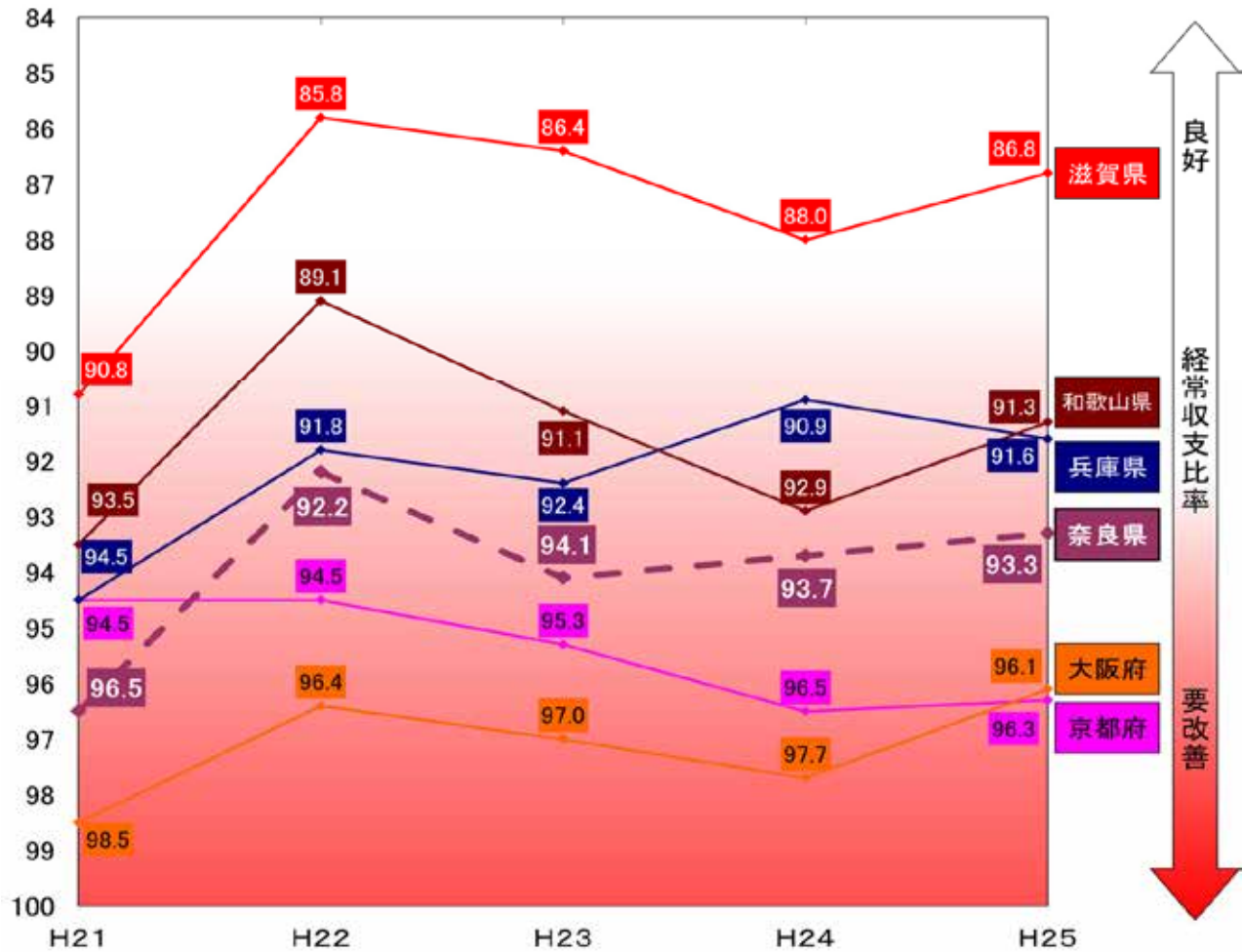
各都道府県の経常収支比率(市町村平均)の対前年度比較

前年度と比較すると、改善した団体は奈良県を含め37団体、悪化した団体は7団体、変動なしが3団体です。



近畿2府4県の経常収支比率(市町村平均)の推移

奈良県(市町村平均)の順位は平成21年度のワースト2位から平成25年度ではワースト3位まで改善しました。



	H21		H22		H23		H24		H25	
	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位
滋賀県	90.8	1	85.8	1	86.4	1	88.0	1	86.8	1
京都府	94.5	3	94.5	5	95.3	5	96.5	5	96.3	6
大阪府	98.5	6	96.4	6	97.0	6	97.7	6	96.1	5
兵庫県	94.5	3	91.8	3	92.4	3	90.9	2	91.6	3
奈良県	96.5	5	92.2	4	94.1	4	93.7	4	93.3	4
和歌山県	93.5	2	89.1	2	91.1	2	92.9	3	91.3	2
参考：全国平均	91.8		89.2		90.3		90.7		90.2	

県内市町村の経常収支比率(対前年度比較)及び全国順位

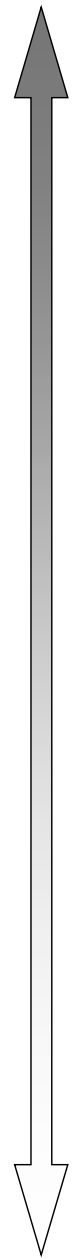
各市町村の経常収支比率及び全国順位を数値の高い団体順に並べると、以下のとおりとなります。

前年度と比較して数値が改善した団体は20団体、数値が悪化した団体は19団体です。

(単位：%、位)

	県内 順位	市町村名	25年度		24年度		対前年度 比率の増減 (A-B)	
			比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位		
要改善	1	御所市	101.3	1,732	96.0	1,611	5.3	
	2	天理市	100.6	1,730	100.5	1,721	0.1	
要治療 全国平均 以上	3	下市町	98.8	1,713	96.6	1,633	2.2	
	4	桜井市	98.7	1,708	98.8	1,697	△ 0.1	
	5	奈良市	97.5	1,688	97.6	1,667	△ 0.1	
	6	明日香村	97.0	1,672	98.5	1,690	△ 1.5	
	6	吉野町	97.0	1,672	95.5	1,586	1.5	
	8	河合町	96.1	1,636	98.7	1,695	△ 2.6	
	9	平群町	95.6	1,622	95.3	1,575	0.3	
	10	斑鳩町	95.2	1,606	95.3	1,575	△ 0.1	
	11	黒滝村	95.1	1,600	93.3	1,456	1.8	
	12	宇陀市	94.2	1,563	96.5	1,631	△ 2.3	
	12	広陵町	94.2	1,563	93.1	1,432	1.1	
	14	大和高田市	93.9	1,544	94.8	1,551	△ 0.9	
	15	橿原市	93.8	1,538	95.5	1,586	△ 1.7	
	16	王寺町	93.6	1,518	92.9	1,416	0.7	
	17	五條市	93.4	1,508	91.7	1,320	1.7	
	18	高取町	92.7	1,455	92.1	1,356	0.6	
	19	上牧町	91.4	1,338	89.9	1,135	1.5	
	20	大和郡山市	91.0	1,302	92.1	1,356	△ 1.1	
	21	安堵町	90.5	1,248	91.3	1,275	△ 0.8	
	22	曽爾村	90.4	1,242	92.2	1,366	△ 1.8	
	健康 全国平均 未満	23	東吉野村	89.9	1,203	89.7	1,104	0.2
		24	田原本町	89.8	1,191	89.5	1,080	0.3
25		大淀町	89.1	1,106	87.2	809	1.9	
26		山添村	89.0	1,092	96.2	1,618	△ 7.2	
27		三郷町	87.9	946	91.0	1,240	△ 3.1	
28		香芝市	87.7	917	89.7	1,104	△ 2.0	
29		御杖村	87.6	899	86.0	684	1.6	
30		三宅町	87.5	885	88.6	969	△ 1.1	
31		生駒市	85.8	681	89.2	1,035	△ 3.4	
32		葛城市	85.7	670	86.1	698	△ 0.4	
33		川西町	83.3	467	81.4	310	1.9	
34		天川村	82.5	394	81.9	343	0.6	
35		下北山村	78.4	195	80.4	263	△ 2.0	
36		川上村	77.3	167	78.7	210	△ 1.4	
37		十津川村	76.9	151	81.0	289	△ 4.1	
38		野迫川村	76.2	131	68.8	39	7.4	
39		上北山村	70.3	40	67.8	32	2.5	

要改善



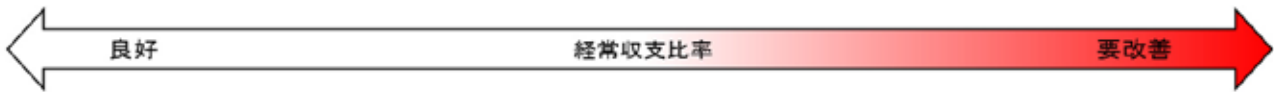
良好

全国平均・市区町村数	90.2	1,742	90.7	1,742	△ 0.5
------------	------	-------	------	-------	-------

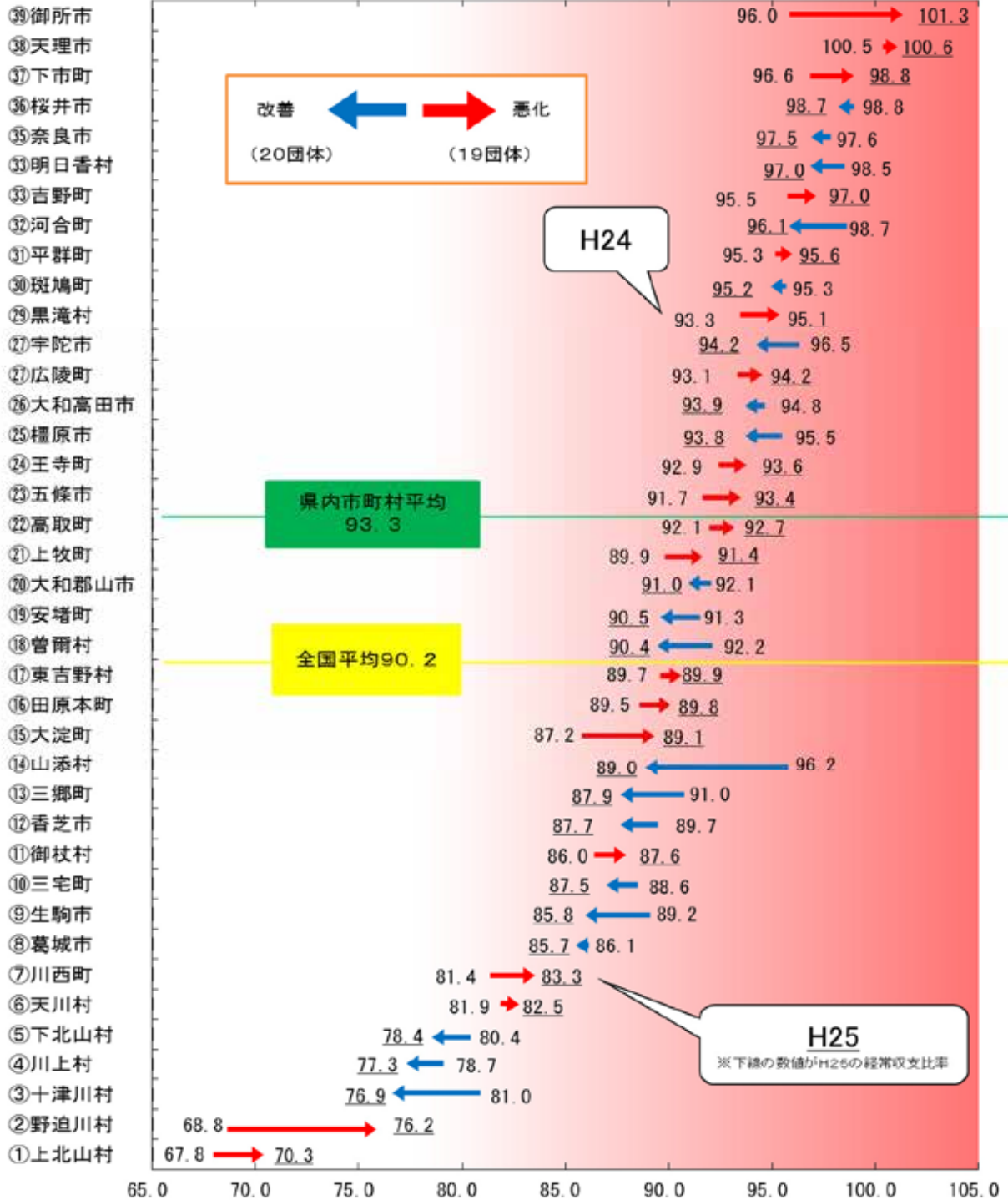
(注) 全国平均は加重平均であり、特別区は含まれていません。

県内市町村の経常収支比率の対前年度比較

山添村、十津川村の改善ポイントが大きく、一方、野迫川村、御所市の悪化ポイントが大きくなっています。



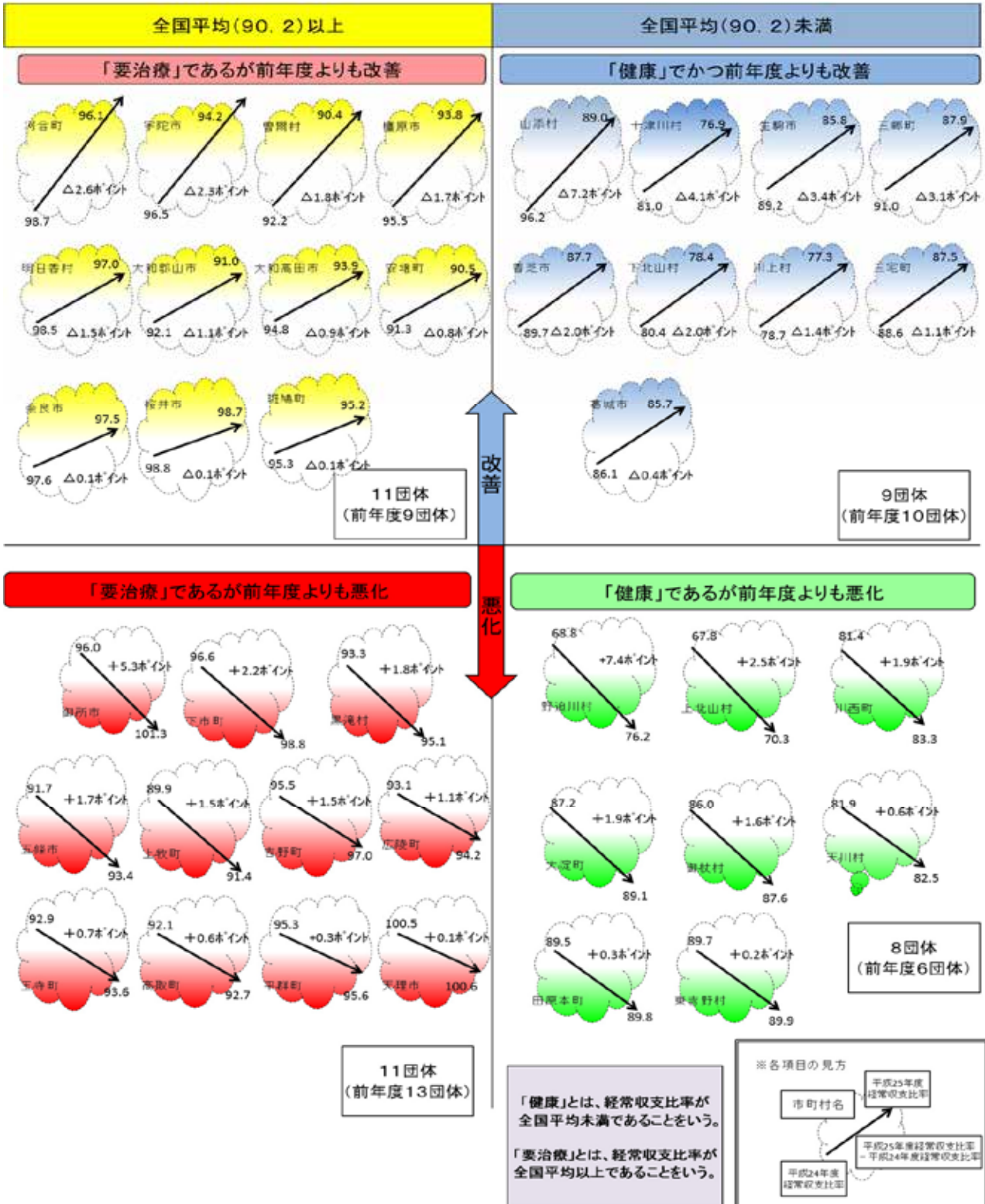
※○内の数字は、県内順位



県内市町村の経常収支比率の健康診断表

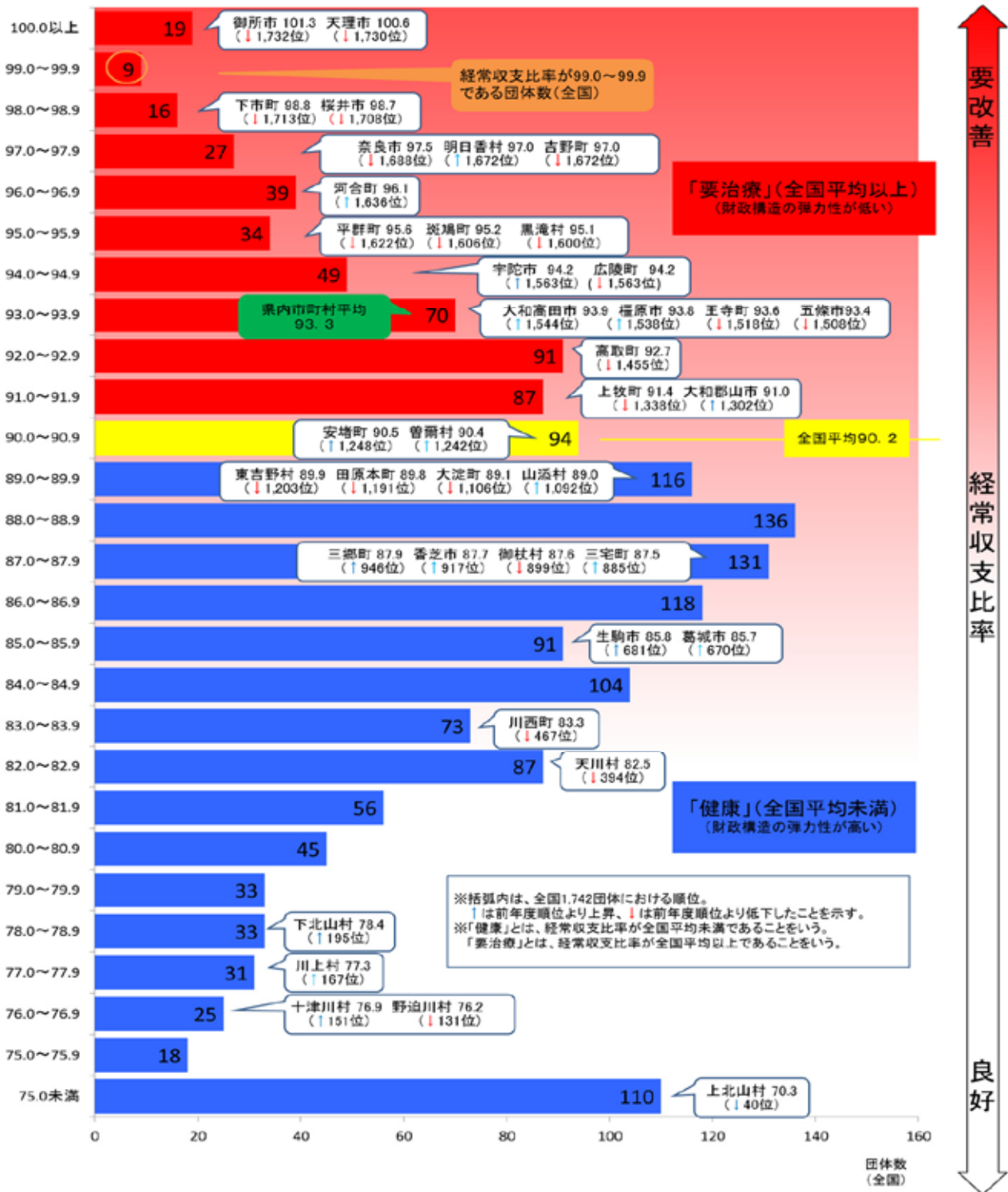
県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分したうえ、前年度と比較して改善したのか、悪化したのかを整理すると以下のとおりとなります。

「要治療」領域に属する22団体のうち、宇陀市など11団体が前年度よりも改善し、御所市など11団体が前年度よりも悪化しました。「健康」領域に属する17団体のうち、山添村など9団体が前年度よりも改善し、野迫川村など8団体が悪化しました。



全国市区町村における県内市町村の経常収支比率の状況

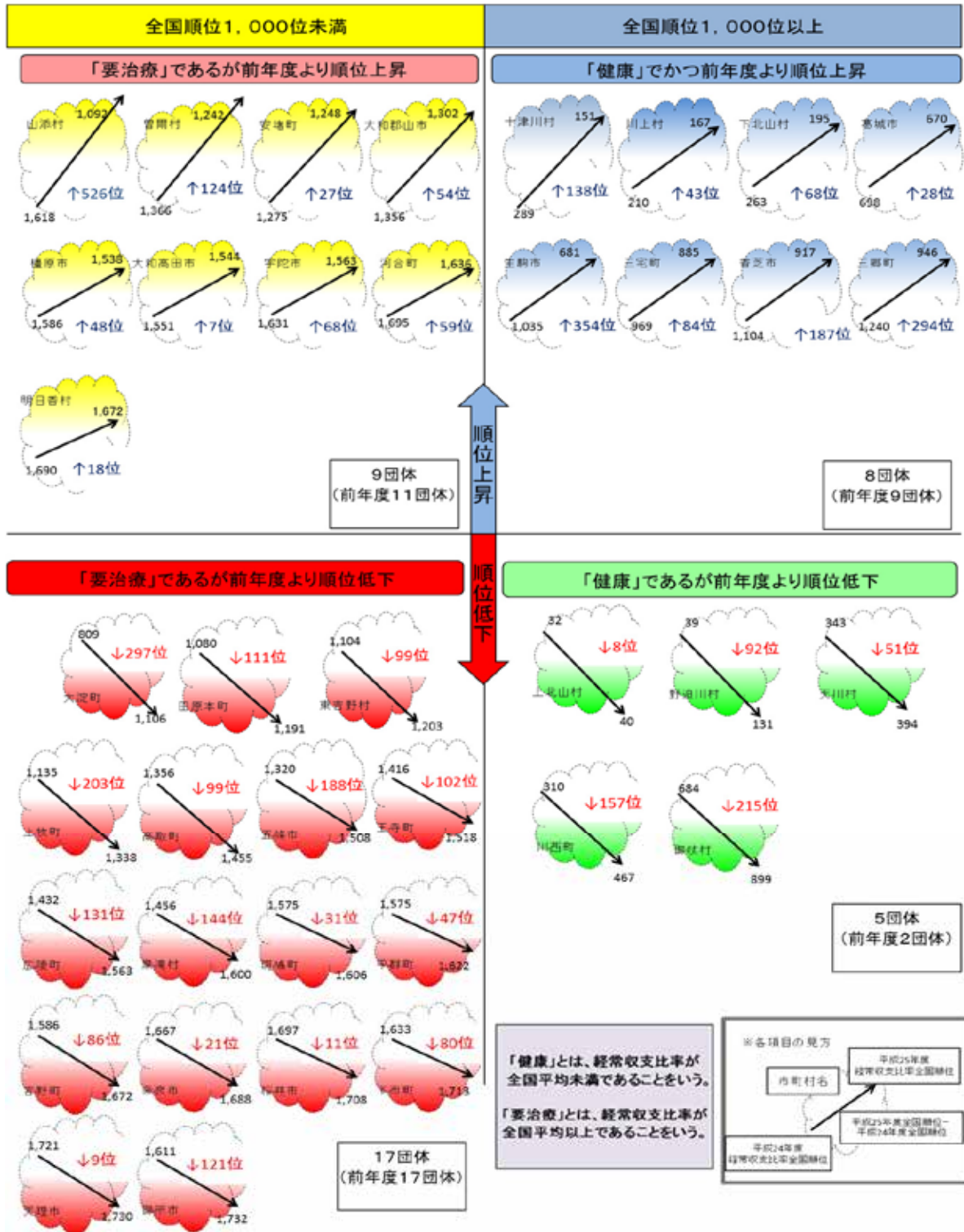
県内市町村の経常収支比率の全国順位をグラフ化すると、以下のとおりとなります。
 全国1,742団体と比較すると、御所市、天理市、下市町などの順位が低く、上北山村、十津川村、野迫川村などの順位が高くなっています。



県内市町村の経常収支比率を全国順位で区分した健康診断表

県内各市町村の経常収支比率を全国順位1,000位を目安に「健康」と「要治療」に区分したうえ、前年度の順位より上昇したのか、低下したのかを整理すると以下のとおりとなります。(全国市町村数1,742団体)

全国順位1,000位以上の団体は13団体で、このうち十津川村など8団体の全国順位が前年度より上昇しました。全国順位1,000位未満の団体は26団体で、このうち山添村など9団体の全国順位が前年度より上昇しました。



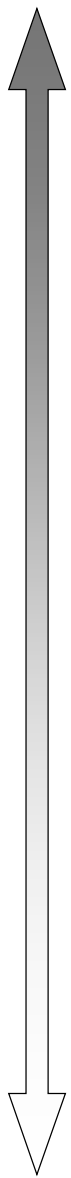
県内市町村の経常収支比率の推移

御所市と天理市は平成25年度の経常収支比率が100%以上(「重症」となっています。一方、全国平均未満(「健康」)の団体は1団体増加し、17団体となりました。

(単位：%)

健康状態		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度				
重症 100%以上	桜井市	102.3	桜井市	97.8	桜井市	99.7	天理市	100.5	御所市	101.3
	三宅町	101.6	天理市	96.6	天理市	99.6	桜井市	98.8	天理市	100.6
	大和高田市	101.2	奈良市	95.8	黒滝村	99.3	河合町	98.7	下市町	98.8
	御所市	101.1	大和高田市	95.2	奈良市	98.9	明日香村	98.5	桜井市	98.7
	河合町	101.0	河合町	95.1	河合町	96.8	奈良市	97.6	奈良市	97.5
	曾爾村	100.1	御所市	94.4	樺原市	96.1	下市町	96.6	明日香村	97.0
要治療 全国平均以上	樺原市	99.6	三宅町	94.4	御所市	95.3	宇陀市	96.5	吉野町	97.0
	宇陀市	99.5	樺原市	94.3	大和高田市	95.1	山添村	96.2	河合町	96.1
	王寺町	99.0	宇陀市	94.2	安堵町	94.7	御所市	96.0	平群町	95.6
	黒滝村	98.9	下北山村	94.0	王寺町	94.4	樺原市	95.5	斑鳩町	95.2
	奈良市	98.8	平群町	92.9	吉野町	93.8	吉野町	95.5	黒滝村	95.1
	安堵町	98.7	安堵町	92.8	曾爾村	93.6	平群町	95.3	宇陀市	94.2
	天理市	98.5	黒滝村	92.4	平群町	93.5	斑鳩町	95.3	広陵町	94.2
	川西町	97.9	川西町	92.1	五條市	93.2	大和高田市	94.8	大和高田市	93.9
	下北山村	96.3	曾爾村	92.0	三宅町	93.1	黒滝村	93.3	樺原市	93.8
	生駒市	95.5	下市町	91.7	広陵町	93.1	広陵町	93.1	王寺町	93.6
	山添村	95.4	王寺町	91.5	宇陀市	92.8	王寺町	92.9	五條市	93.4
	上牧町	95.2	斑鳩町	91.3	山添村	92.5	曾爾村	92.2	高取町	92.7
	下市町	95.0	明日香村	91.3	生駒市	92.4	大和郡山市	92.1	上牧町	91.4
	大和郡山市	94.4	三郷町	90.9	斑鳩町	92.3	高取町	92.1	大和郡山市	91.0
	田原本町	94.0	広陵町	90.3	下北山村	91.7	五條市	91.7	安堵町	90.5
	広陵町	94.0	生駒市	90.2	下市町	91.6	安堵町	91.3	曾爾村	90.4
	東吉野村	93.1	山添村	89.9	大和郡山市	91.0	三郷町	91.0	東吉野村	89.9
	斑鳩町	92.7	香芝市	89.4	明日香村	90.6	上牧町	89.9	田原本町	89.8
	五條市	92.5	上牧町	89.4	高取町	89.6	香芝市	89.7	大淀町	89.1
	香芝市	92.4	吉野町	88.8	野迫川村	89.4	東吉野村	89.7	山添村	89.0
	平群町	92.3	御杖村	88.2	香芝市	89.0	田原本町	89.5	三郷町	87.9
	明日香村	92.3	大和郡山市	88.0	上牧町	88.9	生駒市	89.2	香芝市	87.7
	吉野町	92.0	田原本町	87.9	東吉野村	88.8	三宅町	88.6	御杖村	87.6
	高取町	91.1	野迫川村	87.5	田原本町	88.6	大淀町	87.2	三宅町	87.5
	大淀町	89.6	上北山村	87.0	上北山村	88.5	葛城市	86.1	生駒市	85.8
	御杖村	89.4	東吉野村	86.4	大淀町	87.9	御杖村	86.0	葛城市	85.7
天川村	87.7	五條市	86.3	御杖村	87.7	天川村	81.9	川西町	83.3	
健康 全国平均未満	野迫川村	87.5	高取町	86.3	三郷町	87.3	川西町	81.4	天川村	82.5
	葛城市	87.3	川上村	85.0	川西町	86.9	十津川村	81.0	下北山村	78.4
	三郷町	87.3	天川村	84.9	川上村	86.8	下北山村	80.4	川上村	77.3
	川上村	86.6	大淀町	83.8	天川村	84.9	川上村	78.7	十津川村	76.9
	上北山村	85.5	葛城市	82.6	葛城市	82.2	野迫川村	68.8	野迫川村	76.2
	十津川村	79.4	十津川村	79.4	十津川村	78.7	上北山村	67.8	上北山村	70.3
	県平均	96.5	県平均	92.2	県平均	94.1	県平均	93.7	県平均	93.3
全国平均	91.8	全国平均	89.2	全国平均	90.3	全国平均	90.7	全国平均	90.2	

要改善

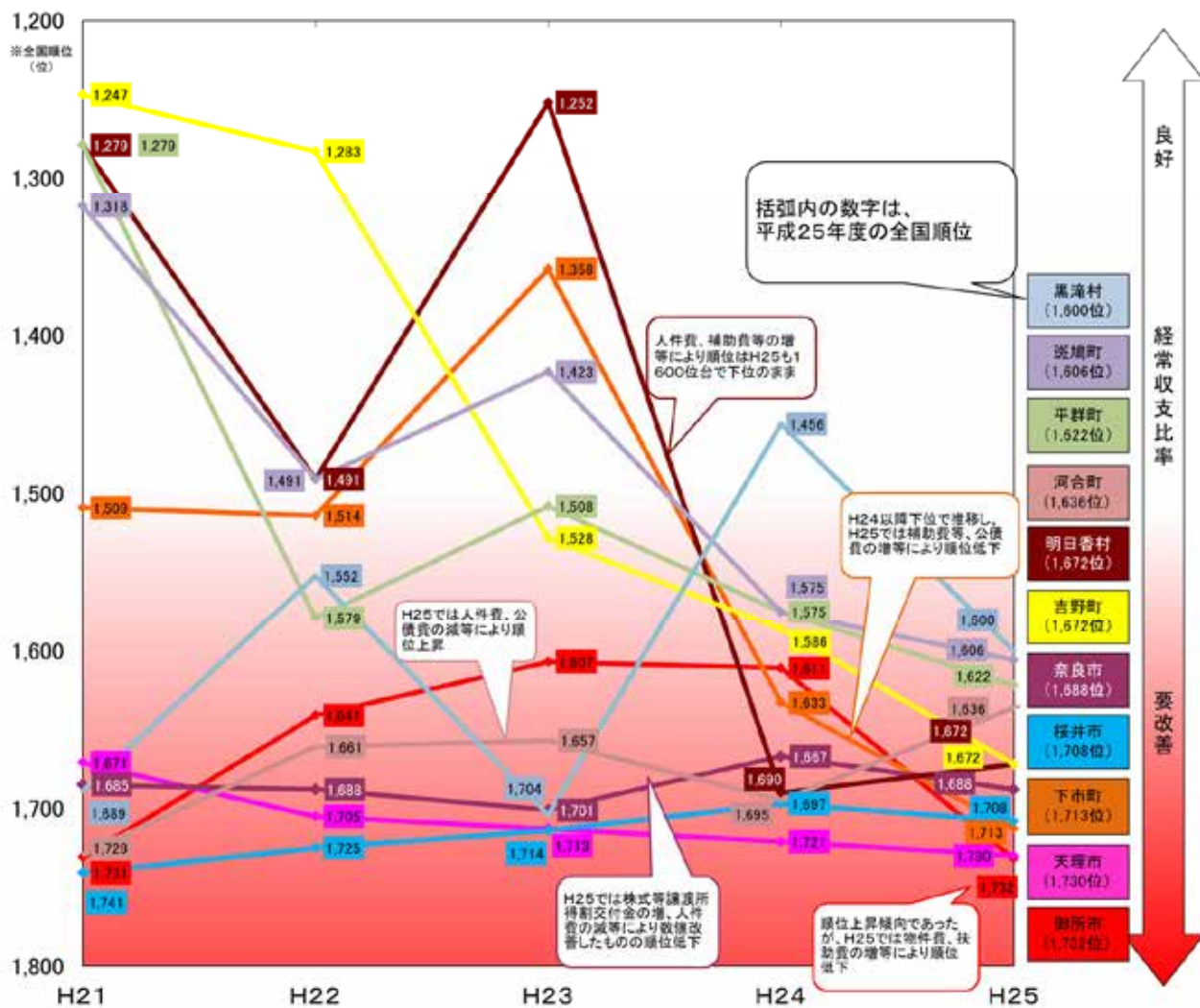


良好

平成25年度県内市町村の経常収支比率を全国順位で4グループに区分し、推移を分析すると、17～20ページのとおりとなります。

全国順位が1,600位以下であった県内市町村の順位の推移

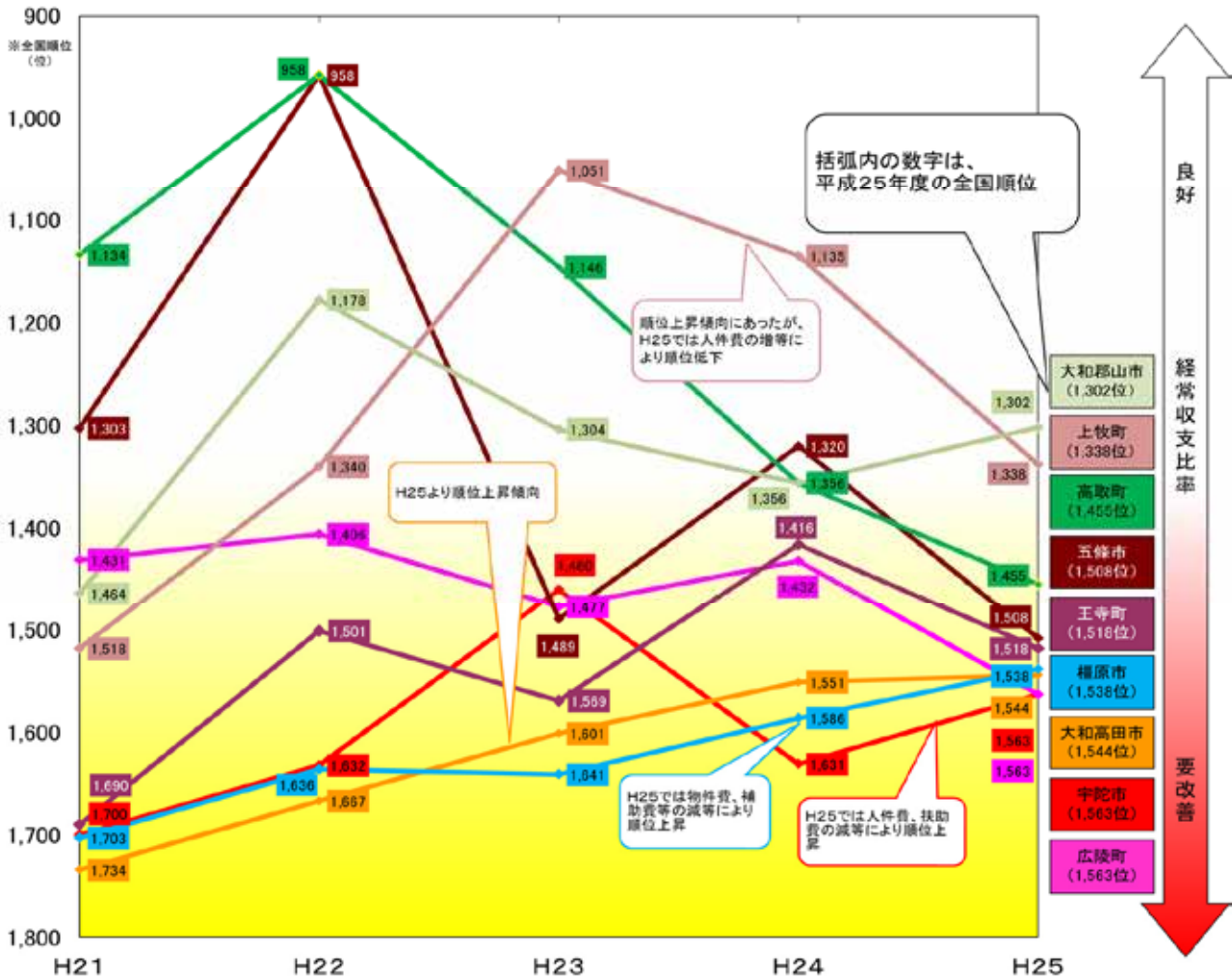
平成25年度経常収支比率の全国順位が1,600位以下であったのは御所市など11団体です。



団体名	H21		H22		H23		H24		H25	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
黒 滝 村	98.9	1,689	92.4	1,552	99.3	1,704	93.3	1,456	95.1	1,600
斑 鳩 町	92.7	1,318	91.3	1,491	92.3	1,423	95.3	1,575	95.2	1,606
平 群 町	92.3	1,279	92.9	1,579	93.5	1,508	95.3	1,575	95.6	1,622
河 合 町	101.0	1,729	95.1	1,661	96.8	1,657	98.7	1,695	96.1	1,636
明 日 香 村	92.3	1,279	91.3	1,491	90.6	1,252	98.5	1,690	97.0	1,672
吉 野 町	92.0	1,247	88.8	1,283	93.8	1,528	95.5	1,586	97.0	1,672
奈 良 市	98.8	1,685	95.8	1,688	98.9	1,701	97.6	1,667	97.5	1,688
桜 井 市	102.3	1,741	97.8	1,725	99.7	1,714	98.8	1,697	98.7	1,708
下 市 町	95	1,509	91.7	1,514	91.6	1,358	96.6	1,633	98.8	1,713
天 理 市	98.5	1,671	96.6	1,705	99.6	1,713	100.5	1,721	100.6	1,730
御 所 市	101.1	1,731	94.4	1,641	95.3	1,607	96.0	1,611	101.3	1,732

全国順位が1, 300位～1, 599位であった県内市町村の順位の推移

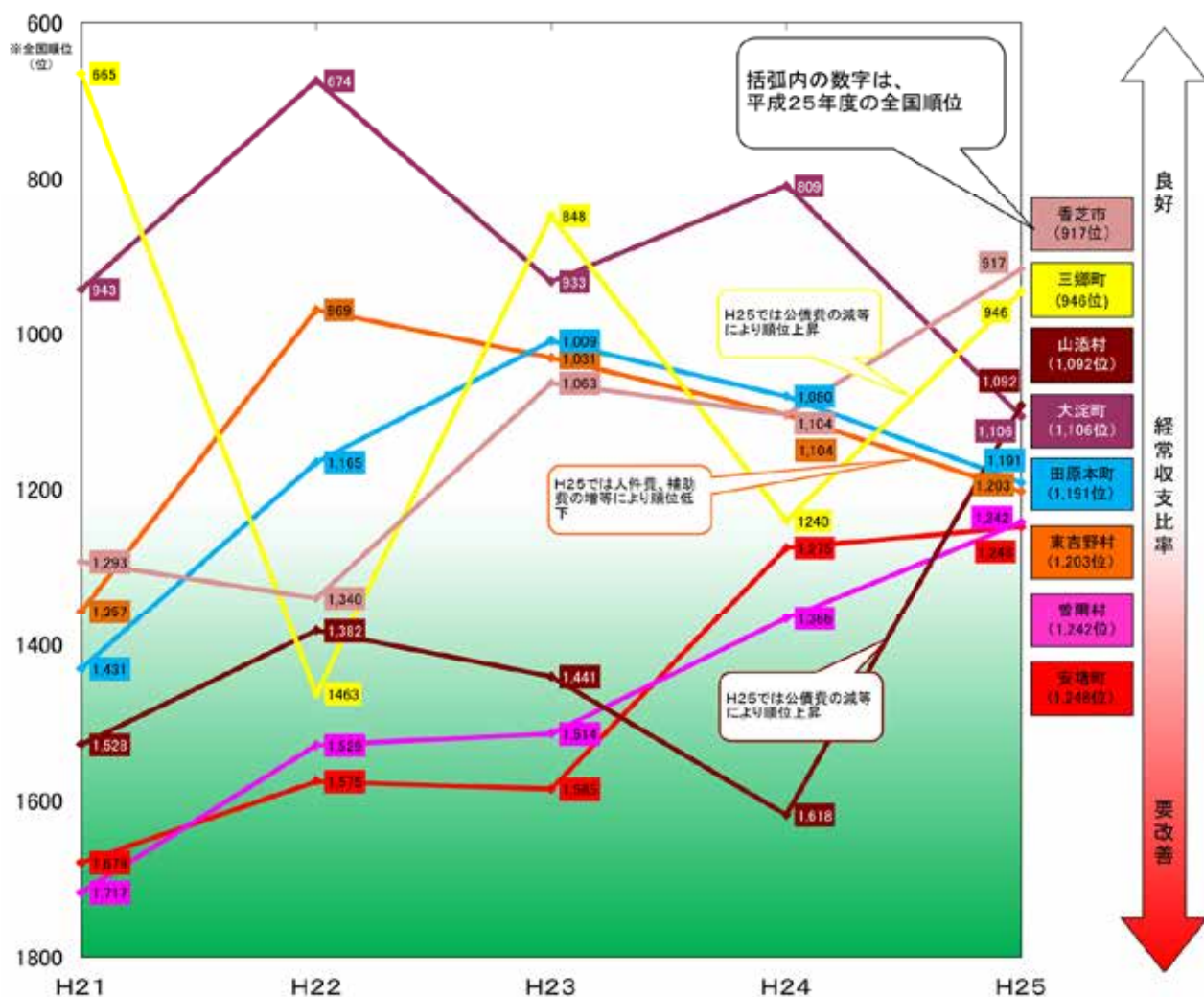
平成25年度経常収支比率の全国順位が1, 300位～1, 599位であったのは広陵町など9団体です。



団体名	H21		H22		H23		H24		H25	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
大和郡山市	94.4	1,464	88.0	1,178	91.0	1,304	92.1	1,356	91.0	1,302
上牧町	95.2	1,518	89.4	1,340	88.9	1,051	89.9	1,135	91.4	1,338
高取町	91.1	1,134	86.3	958	89.6	1,146	92.1	1,356	92.7	1,455
五條市	92.5	1,303	86.3	958	93.2	1,489	91.7	1,320	93.4	1,508
王寺町	99.0	1,690	91.5	1,501	94.4	1,569	92.9	1,416	93.6	1,518
橿原市	99.6	1,703	94.3	1,636	96.1	1,641	95.5	1,586	93.8	1,538
大和高田市	101.2	1,734	95.2	1,667	95.1	1,601	94.8	1,551	93.9	1,544
宇陀市	99.5	1,700	94.2	1,632	92.8	1,460	96.5	1,631	94.2	1,563
広陵町	94.0	1,431	90.3	1,406	93.1	1,477	93.1	1,432	94.2	1,563

全国順位が900位～1, 299位であった県内市町村の順位の推移

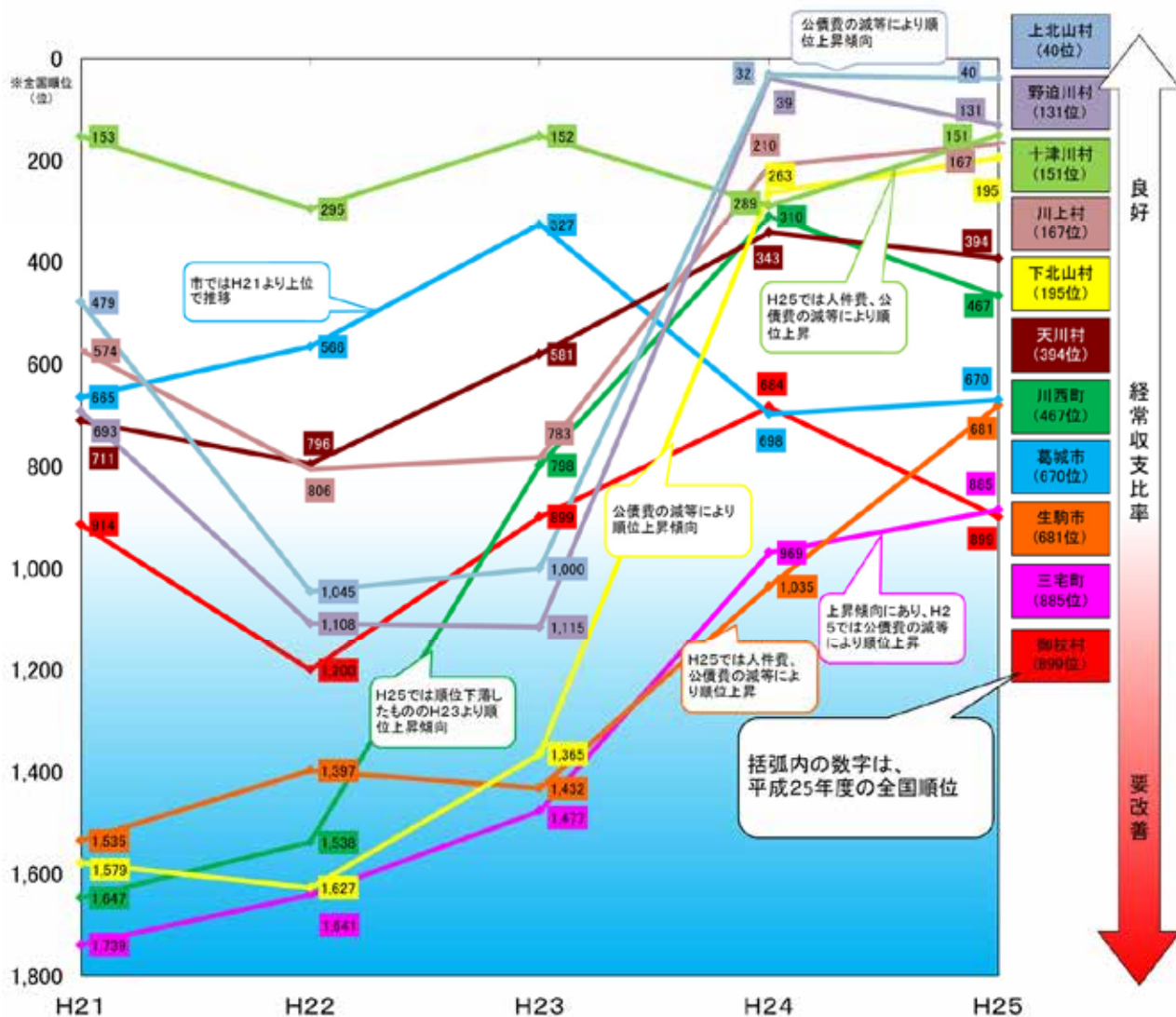
平成25年度経常収支比率の全国順位が900位～1, 299位であったのは安堵町など8団体です。



団体名	H21		H22		H23		H24		H25	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
香芝市	92.4	1,293	89.4	1,340	89.0	1,063	89.7	1,104	87.7	917
三郷町	87.3	665	90.9	1,463	87.3	848	91.0	1,240	87.9	946
山添村	95.4	1,528	89.9	1,382	92.5	1,441	96.2	1,618	89.0	1,092
大淀町	89.6	943	83.8	674	87.9	933	87.2	809	89.1	1,106
田原本町	94.0	1,431	87.9	1,165	88.6	1,009	89.5	1,080	89.8	1,191
東吉野村	93.1	1,357	86.4	969	88.8	1,031	89.7	1,104	89.9	1,203
曽爾村	100.1	1,717	92.0	1,529	93.6	1,514	92.2	1,366	90.4	1,242
安堵町	98.7	1,679	92.8	1,575	94.7	1,585	91.3	1,275	90.5	1,248

全国順位が899位以上であった県内市町村の順位の推移

平成25年度経常収支比率の全国順位が899位以上であったのは御杖村など11団体です。



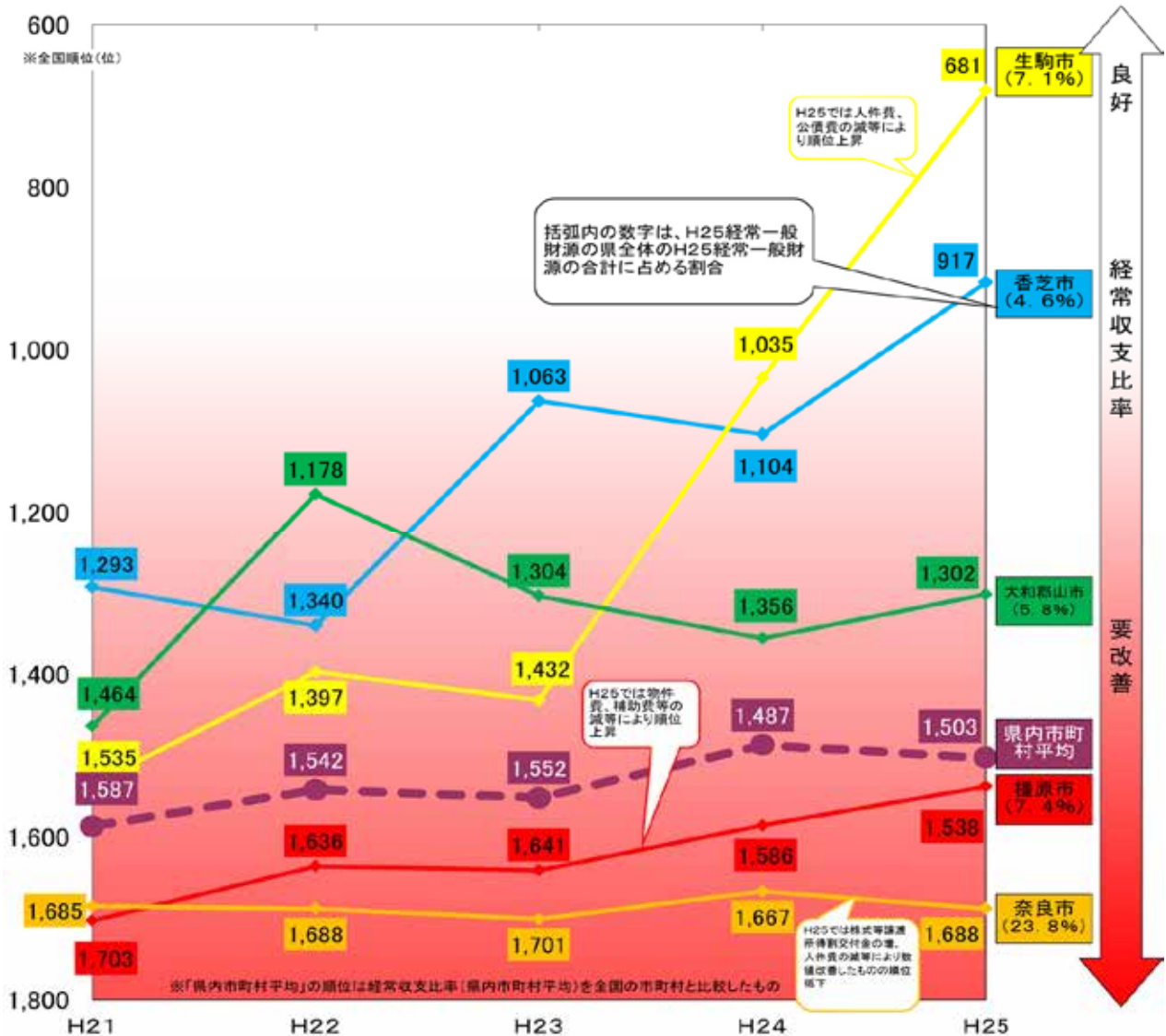
団体名	H21		H22		H23		H24		H25	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
上北山村	85.5	479	87.0	1,045	88.5	1,000	67.8	32	70.3	40
野迫川村	87.5	693	87.5	1,108	89.4	1,115	68.8	39	76.2	131
十津川村	79.4	153	79.4	295	78.7	152	81.0	289	76.9	151
川上村	86.6	574	85.0	806	86.8	783	78.7	210	77.3	167
下北山村	96.3	1,579	94.0	1,627	91.7	1,365	80.4	263	78.4	195
天川村	87.7	711	84.9	796	84.9	581	81.9	343	82.5	394
川西町	97.9	1,647	92.1	1,538	86.9	798	81.4	310	83.3	467
葛城市	87.3	665	82.6	566	82.2	327	86.1	698	85.7	670
生駒市	95.5	1,535	90.2	1,397	92.4	1,432	89.2	1,035	85.8	681
三宅町	101.6	1,739	94.4	1,641	93.1	1,477	88.6	969	87.5	885
御杖村	89.4	914	88.2	1,200	87.7	899	86.0	684	87.6	899

財政規模が大きい県内市町村(経常一般財源の上位5団体)の経常収支比率の全国順位 の推移

平成21年度においては奈良市、橿原市など財政規模の大きい団体の経常収支比率の全国順位が低く、このことが県内市町村平均の順位が低い一因であったと考えられます。

平成25年度においては、平成25年度経常一般財源の上位5団体のうち、橿原市など4市の順位は改善しましたが、財政規模の大きい奈良市の順位は悪化しました。

これらのことから、財政規模の大きい団体は、県内市町村平均の数値の動向に強い影響を及ぼしていることがわかります。



	H21		H22		H23		H24		H25	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
生駒市	95.5	1,535	90.2	1,397	92.4	1,432	89.2	1,035	85.8	681
香芝市	92.4	1,293	89.4	1,340	89.0	1,063	89.7	1,104	87.7	917
大和郡山市	94.4	1,464	88.0	1,178	91.0	1,304	92.1	1,356	91.0	1,302
橿原市	99.6	1,703	94.3	1,636	96.1	1,641	95.5	1,586	93.8	1,538
奈良市	98.8	1,685	95.8	1,688	98.9	1,701	97.6	1,667	97.5	1,688
県内市町村平均	96.5	1,587 (46位)	92.2	1,542 (44位)	94.1	1,552 (43位)	93.7	1,487 (43位)	93.3	1,503 (44位)

※県内市町村平均の括弧内の順位は全国都道府県(市町村平均)と比較した順位

2-2. 家計が赤字になっていないか（実質赤字比率・連結実質赤字比率）

赤字については、「①夫婦の家計（普通会計）」と「②家族全体の家計（夫婦の家計と同居する親の家計の合算（普通会計＋公営事業会計）」とで調べることが大切です。夫婦の家計が大丈夫でも、家族全体では大変なことになっているかもしれません。

この場合は、赤字の大きさがわかる実質赤字比率（夫婦の赤字＝普通会計）と、連結実質赤字比率（家族の赤字＝普通会計＋公営事業会計）をそれぞれ他の家族（市町村）の比率と比較すれば、家計の赤字が深刻な状況になっているかどうかわかります。



①夫婦の家計の状況を調べるには？・・・実質赤字比率

$$\text{夫婦の家計の赤字の大きさ (実質赤字比率)} = \frac{\text{夫婦の家計 (総収入 - 総支出)}}{\text{夫婦の給料 (標準財政規模)}}$$

家計にたとえると		市町村財政（普通会計）	
収入	給料	給与 ボーナス 手当（扶養・住宅）	歳入
	災害見舞金（支援金）	市町村税	
	貯蓄の取り崩し	地方譲与税、各種交付金	
	その他臨時収入	普通交付税	
	去年から繰り越したお金	特別交付税	
	新たな借金	繰入金	
		国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等	
支出	最低限の生活費	食費	歳出
	家の購入、車の購入	医療費、光熱水費、修繕費等	
	自然災害による修繕	親や子どもへの生活費の仕送り等	
	貯蓄の積立	ローン返済	
	株式投資等	人件費	
	去年の支払に回したお金	扶助費、物件費、維持修繕費	
		補助費等、繰出金	
		公債費	
		普通建設	
		災害復旧事業費	
	積立金		
	投資・出資金、貸付金		
	前年度繰上充用金		

県内市町村の実質赤字比率の状況

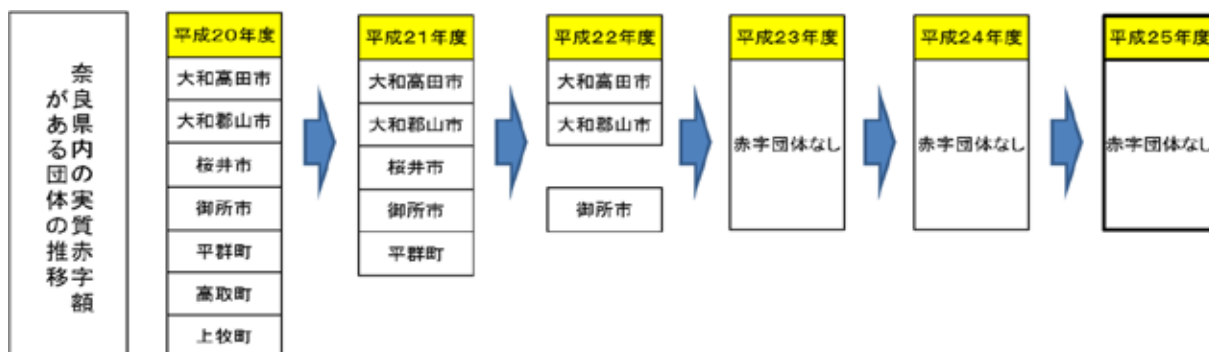
奈良県内は赤字市町村はなし(全国では2団体)

(参考) 地方公共団体財政健全化法に基づく「実質赤字比率」

平成25年度決算では、重症(早期健全化基準(※)以上)になった団体はありません(P25)。

※財政健全化法に定める基準で、一定割合を超すと「財政健全化計画」を策定することになります。

- 平成23年度決算において、総務省が決算統計データを公開している1969年度決算以降、初めて県内全市町村が黒字団体になりました。



実質赤字比率を健康状態であらわすと

